## GDM-906X アプリケーション資料

## データログ機能(Trigger Delay を使用した時間間隔調整)

本資料では、データログ機能についての応用操作について説明します。 GDM-906Xの取扱い説明書も合わせて参照ください。



LOG / LOG# ボタンの説明

LOG/LOG#

- 1. O を押すと、フロントパネルに挿入した USB メモリへの保存動作が始まります。 画面またはデータバッファの測定値を保存することが出来ます。
- 2. (Shift) + 〇 を押すと、ログ機能の設定メニューに入ります。

LOC CDC 2 DC Voltage Trig:Auto Filter	© ■ ■) ₩ 14:51:17 5/s A Range: 100mV
A-Zero Log Mode FileName Name Ove Capture Default SCREEN00 Alw	mVDC
F1 ログモードの選択: F1 Capture:画面キャプチ F2 SaveRead: 測定値	テャモード 記録モード
LOC LAN 2 DC Voltage Trig:Auto Filter	測定1世記録モートはISJとなりま9 SI (4) 記 14:04:58 20/s (M Range: 10V)

## トリガ・ディレイ設定を利用したデータログ動作

- 初めに、データ保存する測定機能を設定します。
  DCV / DCI / ACV / ACI 等々
- Auto Zero の設定をします。
  Auto Zero が On の場合、測定間隔は Speed 表示の倍の長さとなります

Speed:5/s -----Auto Zero On: 1秒間に2.5回測定が行われます。(400msec 間隔) Speed:5/s -----Auto Zero Off: 1秒間に5回測定が行われます。(200msec 間隔)

(長期間のログテータ取得の際は、Auto Zero On をお勧めします)



3. トリガ・ディレイの時間設定を行います。ディレイ時間は上記 Speed の間隔にプラスされて測定が実行されます。

Shift + TRIG	を押して	設定メニ	ユー	-へ入り	)ます。	
LOCTMC	2		C	🗉 🕪 🙀	<u>급</u> 16:15	:51
DC Voltage Trig:Auto	Filter	[ !	5/s	) <mark>(A</mark> Rar	nge: 100	m٧
+00	0.	02	4	9	6	
A-Ze	го			m	VDC	
TrigSourceSampCount 1 Auto <mark>❤</mark> 1 <del>❤</del>	ST Delay Auto 😴	2ND Delay	Trig Po:	Signal s <mark>Neg</mark>	EOM O Pos N	UT eg

4. F3 キー Auto (1ST Delay)を押します。



5. さらに F4 キー Auto Delay を押して、Trigger Delay 設定メニューに入ります。 数値キーで直接値を入力するか、または左右の矢印キー<>とノブで値を設定します。



Speed:5/s, Auto Zero On の設定状態で、測定間隔を4秒にするには、「3.6秒」を設定し、 F6 キー Enter で値を決定します。

同様の設定状態で、測定間隔を 30 秒とする場合は「29.6 秒」を、 1 分にする場合は「59.6 秒」を設定します。 トリガ・ディレイに、3.6秒を設定した状態。



測定間隔4秒の状態で、EOM(End of Measurement)出力パルスを観測。



測定間隔 30 秒の状態で、EOM(End of Measurement)出カパルスを観測。



6. ログデータの取得状況を分りやすくする為に統計表示にします。



7. F6 キー ReStartを押すと設定した間隔で測定が開始され、Countが増えていきます。

必要に応じて、表示をヒストグラムやトレンドチャートに切り替えます。 <sup>® Math</sup>

DISP】キーを押し、F2 キーから選択します。

LOC	2	C 🗉 🕪 🙀 15:	:21:06 LOC TMC	2	C	🗉 🕪 🙀 15:21:24
DC Curr	ent Trig:Auto Filter	5/s 🛛 🗛 Range: 1	100µA) DC Current	Trig:Auto Filte	r (5/s	) 🗛 Range: 100µA)
-0	00.0080 µADC	(MIN : -000.0118µ P-P : +000.0 MAX: -000.0033µ STD : +01.24 AVG : -000.0075µ COU: 49	<sup>0084µ</sup> <sup>4700n</sup> –00	0.0080 µAD	C (MIN : -000.0118µ MAX: -000.0033µ AVG : -000.0075µ	P-P : +000.0084µ STD : +01.24700n COU: 49
4 (8.2%)			+100µ		+	
Total 49					******	·
Bins 100			-100µ			
	-0.0173µ	-0.0062µ +0.0	.0049µ		(49)	
TrigSour <mark>Auto</mark>	ceSampCount 1ST Delay 1 😴 29.60s 3	2ND Delay TrigSignal EOM Pos Neg Pos	A OUT Digit Neg Auto 😴	Display VSca TrendChart <mark>y</mark> Norm	ile HScale al <mark>y Count y</mark> Stop	o&Viewy ReStart

LOG/LOG#

8. USB メモリを挿入し、 🔘 ボタンを押すとサンプリング・バッファにある測定値データが

メモリに保存されます。

※測定機能を他のモードに切り替えると、サンプリング・バッファはクリアされます。 ※測定数がバッファの上限に達すると古いデータから上書きされていきます。

GDM-9060 サンプリング・バッファ 1万 reading GDM-9061 サンプリング・バッファ 10万 reading